

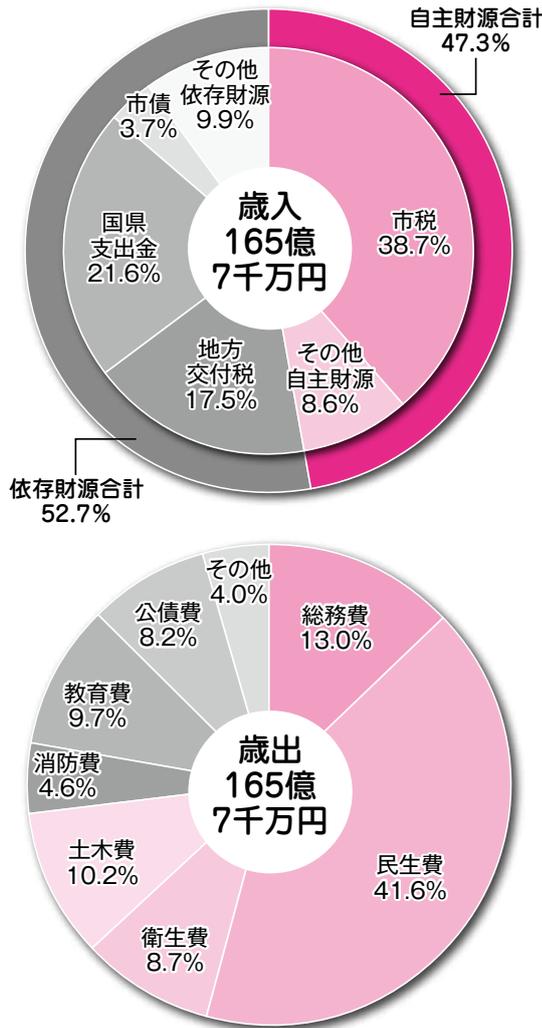
# 令和5年度 一般会計予算成立

一般会計 **165億7,000万円** (前年度比 4.0%増)

## 歳出

主な事業は物価高騰に伴い学校給食費の値上げ相当額の補助、就学前の子どもに幸手産米を配付。公民館のWiFi設備を利用し、高齢者等を対象にスマートフォン講座の開催。がん検診では、集団検診に加え、個別検診を拡充など。

## 一般会計



## 歳入

歳入総額は前年度比**6億3000万円(4.0%)増**  
市税は前年度比**2.0%増の64億761万9千円**

## 令和5年 3月定例会

令和5年3月定例会は2月17日から3月20日までの32日間の日程で開かれました。今定例会では、条例の制定・改正案11件、4年度補正予算案5件、5年度当初予算案8件、補正予算案1件、人事案件4件、諮問案件3件、議員提出による規則制定案1件の合計33件が提出されました。審査の結果、条例案2件を除き、31件が原案のとおり可決・同意されました。審査の結果、条例案2件を一般質問では、14人の議員が市政をただしました。

## 歳出性質別

(単位:千円)

区分	令和5年度	
	予算額	小計(割合)
義務的経費	人件費	3,259,316
	扶助費	4,053,288
	公債費	1,363,392
投資的経費	普通建設事業費	713,833 (4.3%)
その他経費	物件費	3,010,837
	維持補修費	92,561
	補助費等	1,983,786
	繰出金	1,929,269
	積立金	102,217
	貸付金	31,501
	予備費	30,000
歳出合計	16,570,000	7,180,171 (43.3%)

※繰出金とは一般会計から各特別会計に繰り出す支出です。

## 特別会計

(単位:千円)

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	6,278,873
後期高齢者医療特別会計	868,906
介護保険特別会計	4,514,599
農業集落排水事業特別会計	45,003
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	309,554
合計	12,016,935

(水道事業および公共下水道事業を除く。)

令和5年3月定例議会  
本会議議案質疑内容

(議案第2号)  
幸手市庁舎建設審議会  
条例

**質疑**  
審議会に諮問する範囲、対象を伺います。

**答弁**  
庁舎整備に係る基本構想の内容について、7回程度の審議会を経て、答申をいただく予定です。審議内容は、現庁舎の抱える課題、新庁舎建設の必要性、新庁舎建設に向けた基本理念や基本方針、新庁舎機能の検討、新庁舎適正規模の算定、建設候補地の比較検討、事業手法、事業スケジュールや概算事業費などを想定しています。

**質疑**  
委員の割り振り人数を伺います。

**答弁**  
委員13人以内で組織します。知

識経験を有する者を2〜3名、地域団体等の代表者を8〜9名、その他市長が特に必要と認める者として2〜3名程度を予定しています。

(議案第5号)  
幸手市保健福祉総合センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

**質疑**  
入浴施設の廃止に至る経過と庁内協議について伺います。

**答弁**  
令和2年11月に幸手市公共施設個別施設計画を策定し、天神の湯は老朽化が進行していることから、令和11年度からの第2期を目安に廃止することを位置づけるに至っています。

その後、協議の場を3回設定し、昨年8月23日開催の幸手市公共施設等アセットマネジメント推進会議にて、天神の湯の方向性を協議した結果、公共施設個別施設計画における位置づけを前倒しして、天神の湯を廃止することの結

論に至りました。さらに同年9月26日開催の政策会議及び10月3日開催の庁議に諮られ、その結果、天神の湯は令和5年、今年6月末日をもって廃止とする最終結論に至ったものです。

**質疑**  
令和2年に434万8300円、令和3年に522万1656円の修繕費があり、1日も開館しないで閉館という理由を伺います。

**答弁**  
この修繕は実施により、これまでの不具合は解消され、問題なく完了しました。

令和4年1月の下旬以降に営業の再開を事実上阻む原因は、浴室からの水漏れ、水栓口、配管の水漏れ等々によるものです。新たな事象が生じたため休館をせざるを得なくなりました。

(議案第17号)  
令和5年度幸手市一般会計予算

**質疑**  
市長の予算編成方針について伺

います。

**答弁**  
第1として、総合振興計画等に基づく着実な行財政運営です。

第2として、ウィズコロナを踏まえた行政運営です。

第3として、DXの推進です。

第4として、的確な経常経費の見積りです。

第5として、歳入の確保と新たな財源の創出です。

令和5年度予算は、私の信条である市民本位の行政、未来志向のまちづくりをさらにスピード感を持って進め、幸手市に新たな価値を創造するための予算を編成するものです。

(決議案第1号)  
木村治夫議員の議員辞職勧告決議

無記名投票の動議があり、賛成多数で可決されました

**(議案第5号)**  
**幸手市保健福祉総合セン  
 ター設置及び管理条例の  
 一部を改正する条例**

**反対討論** 青木 章

本案は、ウエルス幸手の入浴施設を廃止とする改正案であり、市民サービスの低下を意味します。木村市長は、老人福祉センターの無料浴室も令和4年3月に廃止しました。ウエルス幸手「天神の湯」は新型コロナウイルスの影響により令和2年12月より休館となり、その間約1千万円もの税金を使い改修しました。その後一日も開館することなく廃止にするのは、市民の税金約1千万円を無駄使いする内容で市長の対応が厳しく非難される案件です。議会の否決は、市民が木村市長に対して不信任に値するものです。速やかに「天神の湯」再開を行なうよう、予算措置をすべきです。

**賛成討論** 坂本 達夫

幸手市には様々な課題があります。本庁舎の耐震性の問題、消防署の建替え問題、桜泉園の煙突問題、東武鉄道の西側では南北を走

る幹線道路がなく、狭い道路を多くの車がスピードを出して走り、市民は危険な道路の中で生活しています。洪水対策の充実も待ったなしです。天神の湯、お風呂の問題は、私は個人や民間施設の問題と考えます。毎年約2500万円以上の赤字を計上している天神の湯は廃止し、市は市の課題に対処すべきです。以上、天神の湯を廃止することに賛成します。

**反対討論** 武藤 壽男

天神の湯の使用料金は通常開館の場合、年間約9万6千人が利用し約1600万円程度、一方経費は、施設管理委託料約1050万円程度、光熱費800〜900万円程度であり、修繕費等をもみても市の負担は年間約500万円程度と見られます。

総利用者が9万5千人を超えている。60歳以上の高齢者7万人の利用者がある。独居高齢者の利用が多い。障がい者利用の施設で再開の期待がある。老人福祉センターの施設は廃止され唯一の施設である等の理由により、廃止した場合の代替案なく、必要とされる維持管理の積算も示されず、天神の湯の廃止となる条例の改正には反対します。

**賛成討論** 武藤 壽男

執行部の皆さん、街づくりの構想は、その基本は、実現可能な構想を自ら発想し、実現可能な事業計画と財源計画を立ててください。今厳しい状況にあります。財政指

**(議案第17号)**  
**令和5年度幸手市一般会  
 計予算**

**反対討論** 大平 泰二

20年以上放置してきたダイオキシン類まみれのゴミ焼却場の解体工事、老朽化した消防署の新築工事、後数年と言われているゴミ焼却灰最終処分場、少子化による小学校の統廃合、学校給食の完全無償化(全国254自治体実施)、18歳までの医療費無料化、市内循環バス往路路線と東鷲宮駅路線の復活。市内病院を中心としたバス停の設置。お年寄り、障害者への登録制による無料タクシー券の発行、天神の湯の再開、白線が消えたままの市道又は劣化した市道の整備、治水対策等全て「待ったなし」です。このような予算措置がされていません。

**賛成討論** 武藤 壽男

執行部の皆さん、街づくりの構想は、その基本は、実現可能な構想を自ら発想し、実現可能な事業計画と財源計画を立ててください。今厳しい状況にあります。財政指

が回る範囲内で市債を最大限活用し、国庫支出金等も獲得し、財政運営をしなければ活路は開けないと思います。

どうか、人口は減少しても、規模にあったコンパクトな街を目指して、真の自治を確立し、時代にあつた幸手市の建設を常にお願ひ申し上げます。

議会での審議の内容に充分配慮して戴き、市民生活の安定のためにも予算は必要であり、賛成致します。

議会で必要であり、賛成致します。

**人事案件**

公平委員会委員

- 山口 寿通氏
- 河村 成子氏
- 野村 茂氏

を選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

- 小森 谷 進氏

を選任することに同意しました。

人権擁護委員

- 小林 達郎氏
- 小林 弘和氏
- 高島 勝也氏

を推薦することに同意しました。